

令和7年度 自己評価集計結果

学校名 成田市立三里塚小学校

1 学校教育目標

夢に向かってがんばる子ども

2 本年度の重点化された具体的な目標

- (1) 学習に進んで取り組む子(知育)
○わかる授業の実践に努め、学力の向上を図る。
(2) 自分を大切に、相手も思いやる子(徳育)
○すべての活動を通して、児童個々の自己肯定感を育てながら、相手も思いやる心を育てる。
(3) 心身ともにたくましい子(体育)
○基本的な生活習慣の確立を図り、自分なりにめあてをもって活動する児童を育てる。

評価の指標

80%以上A 60%以上B 60%以下C

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	保護者	児童	教職員	取組状況	改善の方策
教育課程 学習指導	子どもたちは、学校生活を楽しんでいる。	91.8%	93.0%	100.0%	A	
	子どもたちは、目標をもって生活している。	70.9%	84.5%	40.0%	B	・児童が目標をもって学校生活が送れるよう、学級活動や道徳などの授業の充実を図る。
	授業は、子どもにとって楽しくわかりやすい。	80.8%	85.0%	100.0%	A	・ICT等を効果的に活用することにより、よりわかりやすい授業を目指し、授業改善を図る。
	子どもたちに、基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせるよう取り組んでいる。	79.1%	84.5%	93.3%	A	・基礎的・基本的な内容を定着できるよう、ドリルタイムや個別の指導を生かして指導内容の徹底を図る。
	読書の機会を十分設けている。	77.5%	69.0%	73.3%	B	・学年間で差が無いように、学習規律や持ち物忘れをなくす等の指導の徹底を図る。
	タブレットは授業に効果的に取り入れられている。	76.3%	95.3%	86.6%	A	・学校図書館を効果的に活用し、読書にしたい環境作りを推進する。
生徒指導	いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	70.9%	88.3%	93.3%	A	・教職員と保護者、児童との意識の乖離が見られる。どこまでを求めているのかということを確認に示すことで、教職員が求めている姿への理解を促していく。
	子どもたちは、時間やきまりを守って生活している。	93.4%	88.3%	40.0%	B	・教育相談やアンケートをより充実させることで、いじめを未然防止、早期発見できるように、活動の充実を図る。
	子どもたちの自己肯定感が高いと思う。	65.4%	75.6%	40.0%	B	・節目の時刻にはチャイムを鳴らすことで、時間を意識した行動が取れるように随時指導を行う。
	人間関係づくりやマナー、ルールを守る指導がされている。	75.2%	93.4%	87.7%	A	・道徳科を中心に、道徳心や規範意識について、一人一人が自分のこととして考える機会を増やす。
安全管理 健康教育	子どもたちは、体力向上や健康な体を意識した生活をしている。	72.0%	90.6%	80.0%	A	・外遊びの励行、保健指導の充実等を図り、体力向上や健康な体作りをすすめる。
特別支援 教育	特別な支援が必要な子どもたちへの個に応じた対応は適切である。	68.7%	90.1%	100.0%	A	・食の指導の充実を図る。
家庭・地域 との連携	学校は教育方針や目標を家庭や地域に伝えている。	77.4%			B	・学校だよりやホームページ、タイムライン等の内容を充実させ、適宜更新し、積極的に情報発信する。
	学校は、子どもたちの様子が分かるように情報発信をしている。	85.2%		80.0%	A	・学校教育目標や方針を伝える機会を模索する。
	学校は子どもたちや保護者の相談等に適切に対応している。	84.6%		100.0%	A	・PTA活動について、保護者の声を積極的に聞き、より負担軽減、効率的な取り組みとなるようにする。
	学校は、保護者の意見を大切に受け止めようとしている。	80.2%		87.8%	A	・アンケートや学校評価等に寄せられる保護者の意見を受け止め真摯に対応していく。
家庭生活	子どもたちは、家庭学習に取り組んでいる。	70.3%	72.3%		B	
	子どもたちは、早寝早起きなどの生活習慣が身についている。	71.4%	74.6%		B	・家庭生活について、学級の懇談会や個別面談、各種お便り等を通して啓発していく。
	子どもたちは、家で挨拶や返事をしている。	87.9%	86.4%		A	・家庭教育学級等の取組を充実させることで、家庭生活についての相談ができる体制を整える。
	子どもたちは、家でお手伝いをしている。	73.1%	79.3%		B	・家庭学習については、学校全体での取組を共通理解し、推進していく。
	子どもたちは、家で学校での出来事を話している。	82.4%	82.6%		A	
教育環境 整備	校舎内外の環境は整備されている。	85.7%	83.5%	67.7%	B	・PTAとも連携しながら、美しく過ごしやすい環境を維持する。

4 自己評価の結果の分析

○今年度から国語科を研究教科に据え、児童の基礎的・基本的な力を伸ばすための指導方法について研究をスタートした。三里塚小学校の児童の実態に合った指導方法を研究していくことで、教師の授業力の向上に務めてきた。研究所年度なので、来年度も引き続き研究を進めることで、今後の学力の向上につなげていきたい。

○タブレットの活用についてはより充実をとの声もある。効果的な使用方法については、今後も研修をかさねていくことで、児童の学力向上につなげていく。

○児童の情報モラルの部分については、不安があり、トラブルも多かった。次年度も情報モラル教室等を実施し、啓発をしていく必要がある。

○学校を取り巻く環境が整備され、子どもたちは楽しく学校へ通っているという回答は多い。しかし、登下校の様子などから、安全面に不安をもっていると言う声も寄せられている。交通安全教室や日頃の交通指導を充実させ、交通ルールを守った行動がとれるように指導していく。そして、今後も地域の方や保護者との連携を図りながら、児童の安全確保に努めていく。

○時間やきまりを守るように、適宜指導を行ってきているが、一つ一つのきまりが徹底されていない状況がある。重点目標を決めて、全職員が共通認識のもと「絶対に守らせる」という気概をもって指導にあたる。また全教育活動を通して、積極的な生徒指導を行い、道徳心及び社会的なルール等を守る意識を育てていく。

○児童の自己肯定感は低い傾向にある。学校目標でもある「夢に向かってがんばる子ども」を育成するためにも、大小にとらわれず夢や希望が持てるような教育活動を推進していく必要がある。そのためには、日々の学習指導や生活指導を丁寧に実践していくことで、児童の意欲等の向上につなげていく。

○保護者の声により耳を傾けていけるよう、アンケートや学校評価、その他寄せられる相談にも真摯に対応していく。

○アンケートの回答から「わからない」という意見もいただいた。学校の中での様子が伝わって居ないことから、判断が難しいということと受け止めている。学校での活動の様子等が保護者に伝わるよう、各種のお便り、メール配信、学校HPなど様々な媒体を活用し、情報を発信していく。

○学校環境への意見の中に「トイレ」に関するご意見を複数いただいた。古い校舎のため、清潔感があまりないためと思われるが、清掃等をしっかりと行い、古くても清潔なトイレを目指していく。